

サクソフォンと和太鼓、国も違えば歴史も違う、
2つの楽器が組み合わさった時、一体何ができる？

2021年
12月16日(木)

19時開演 (18時15分開場)
Thu 16th Dec 2021
19:00 (Doors Open 18:15)

会場
神奈川県民ホール 小ホール
Kanagawa Kenmin Hall
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町 3-1

全席指定
指定席 3,500 円 /
小・中・高校・学生 1,800 円
Tickets ¥3,500/¥1,800 (Concessions)

一般発売：2021年9月10日(金)
チケットかながわ

【電話】
0570-015-415 (10:00 ~ 18:00)

【WEB】
<https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

*おかけの際は番号をお確かめのうえ、
お間違いのないようお願いいたします。

出演
大石将紀 (サクソフォン)
Masanori Oishi (Saxophone)
辻勝 (和太鼓)
Masaru Tsuji (Taiko)

演目
ジョン・ケージ「龍安寺」(1983/85)
John Cage: Ryoanji (1983/85)
「お山参詣登山雑子」(採譜・編曲 村山二郎)
Oyama Sankei Tozan Bayashi
(Transcription/arrangement: Jiro Murayama)
池辺晋一郎
「葦と皮で何が出来る？」(2019委嘱作品)
Shin-ichiro Ikebe:
What Can Be Done with Reed and Leather? (2019)
和太鼓独奏「道行〜大太鼓」
Taiko solo: Michiyuki ~ Odaiko
即興演奏 マックス・ローチ
「トリプティック」へのオマージュ
Improvisation: Hommage to Triptych by Max Roach
ヤコブ TV 「Grab it !」(1999)
サクソフォンと和太鼓ヴァージョン
Jacob TV: Grab it ! (1999)
(Saxophone and Taiko version)
杉山洋一「Jeux III」(2019委嘱作品)
Yoichi Sugiyama:Jeux III (2019)

WHAT CAN BE DONE
WITH REED AND LEATHER?

葦と皮で
何が
出来る？

サクソフォンと和太鼓、国も違えば歴史も違う、 2つの楽器が組み合わさった時、一体何ができる？

このコンサートはサクソフォン奏者大石将紀がサクソフォンと邦楽器のための作品を委嘱し発表するプロジェクトの第2回目として行った「サクソフォン × 箏、和太鼓」で生まれた作品2曲を中心に、今まで出会わなかった2つの楽器の可能性をより深堀すべく、新たな曲を加え拡大して行うコンサートです。懐かしい音楽から新しい響きまで、ぜひお楽しみください。

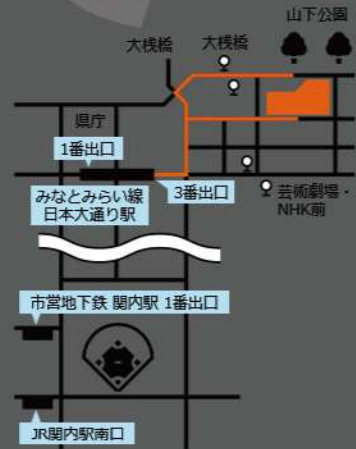
池辺晋一郎「葦と皮で何ができる？」は、タイトル通り、二つの異質な楽器が、何かをなそうとする過程。考えてみれば、当夜、正面から両者の「対話」を試みようとしたのはこの曲のみだった。こんなところに世代による創作傾向があらわれるのかもしれない。当夜の白眉は杉山洋一の「JeuxⅢ」。サクソフォンが長崎地方の子守唄、隠れキリシタンの歌の断片をたなびかせる背景で、太鼓が少しずつ、少しずつ音量を増していく。一見すると、ノスタルジックな味わいながらも、その底にはどんよりとした淀みが口をあげている。会場出た後も、その昏さがなかなか頭から離れなかった。

(2019年12月11日公演、沼野雄司 読売新聞評より)

公演URL <http://www.m-oishi.com/project/>

- ・本公演は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し実施致します。上記公演URLにて「ご来場のお客様へのお願い」をご一読くださいますようお願い申し上げます
- ・未就学児のお子様はご入場できません
- ・やむを得ない事情により、公演が中止・変更、曲目も変更になる場合がございます
- ・収容率を5割程度に下げた座席配置となります
- ・車椅子席の方は必ず事前にご予約ください。ご本人と付き添いの方1名まで割引の対象となります
- ・当日はスチール写真、及び動画撮影が入ります

会場
神奈川県民ホール 小ホール
Kanagawa Kenmin Hall
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町3-1



公演に関するお問い合わせは、
サクソフォン × 邦楽器 × 現代音楽実行委員会
(080-6686-8865 / info@inanakiya.com)
までお願い致します
Inquiries should be directed to
080-6686-8865 or info@inanakiya.com

大石将紀 (おおいしまさのり)

サクソフォン奏者としてクラシック音楽、特に現代音楽のジャンルで活躍し、これまでに数々の日本初演を手がける。

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了後、03年に渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業後、08年帰国。その後は国内を初めヨーロッパやアジアにおいて音楽祭の出演やリサイタルを開催。

第13回佐治三賞、令和元年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。現在大阪音楽大学特任准教授、東京藝術大学、洗足学園音楽大学講師、エリザベト音楽大学特別講師。www.m-oishi.com

辻勝 (つじまさる)

北海道様似郡様似町出身。1996年から2016年までの20年間「太鼓芸能集団 鼓童」のメンバーとして活動。2016年に独立、東京に拠点を移し、市川海老蔵主演「高川五右衛門」での大太鼓演奏を皮切りに、以後、歌舞伎作品に数多く出演。自身の主催公演「三の巻」の他、2019年12月には今回の演奏曲である「葦と皮で何ができる?」、「JeuxⅢ」を大石将紀と世界初演するなど、ソロ和太鼓奏者として活躍している。これまでに出演した舞台は世界24カ国、日本全都道府県で2,000回を超える。和太鼓スクール HIBIKUS 横浜にて講師を務める傍ら、各地でワークショップも行っている。

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業
協賛：野中貿易株式会社
協力：株式会社 宮本卯之助商店、HIBIKUS 横浜、株式会社東京コンサーツ
舞台監督：根本孝史
宣伝美術：長谷川健太郎
主催・制作：サクソフォン×邦楽器×現代音楽実行委員会

WHAT CAN BE DONE
WITH REED AND LEATHER?



NONAKA

